

# TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成25年3月11日 第70号  
浜田市農林業支援センター

## はじめに

一雨ごとに春の息吹を感じる時期に成りましたが、今年の冬は例年になく積雪の少ない冬ではなかったでしょうか。夏場の水不足が心配されます。さて、いよいよ水稻を初めとした農作業が本格化しますが、農業機械を使う時間も多くなることに伴い、そうした機械による重大な事故も高齢者の方々を中心に全国的に多く発生しています。万全な体調は基より、服装にも充分気を配り安全な農作業を行いましょう。（浜田市農林業支援センター長 大谷 十三一）

## 1. 各支援チームからの話題

### ★ 新規就農者支援チーム いなだ なかた (担当：稲田・中田)

## 研修希望者の審査会開催

2月28日、今年4月からの浜田市ふるさと農業研修生希望者の審査会が行われました。

今回は県外から2名の方が応募されました。審査会では、まず受入先から、審査会前に実施した短期研修の様子をお話いただき、研修希望者からは、農業に対する思いや、浜田での生活について意気込みを語られました。各委員の方からは、これまでの経験、農業への意志など幅広く質問がありました。



審査の結果2名とも合格となり、これから研修開始に向け準備されます。当支援センターでは、地域の貴重な担い手となるべく農業研修生を今後も支援していきます。

### ● 認定農業者支援チーム なかた いなだ (担当：中田・稲田)

## そったく塾にて



2月25日に浜田合同庁舎において、浜田地区に勤務する、主に県・市職員が、地域づくりを進めるために、幅広い知識と多角的で柔軟な思考を自主的に学習する場として開催している「そったく塾」に、弥栄町の認定農業者 有限会社やさか共同農場の佐藤隆 代表が講師として招かれ「やさか共同農場 40年のあゆみ～定住と六次産業化～」と題して講演をされました。

講演では、これまでの生い立ち、弥栄町（当時：弥栄村）との出会いから様々な地域との交流及び連携、そして、現在の有機農産物の生産、加工、販売に至った経緯をお話しされ、常に「地域とのつながり」が大事であることを強調しておられました。

今年度は、7月に全国農業コンクールで毎日農業大賞（グランプリ）、11月の農林水産祭では日本農林漁業振興会会長賞を受賞され、加工を通じた地域活性化、有機農業、新規就農者拡大等の挑戦が高く評価をされた一年となりました。今後とも農業を通じた地域交流とともに、益々のご活躍が期待されます。

### ■ 集落営農組織支援チーム たばら かまはら (担当：田原・鎌原)

## 集落営農組織の総会

浜田市各地域の集落営農組合の総会が開催され、一年の総括が行われています。

集落営農組織は生産・販売コストの低減や労働力の補完などの面において、全国で重要視される担い手の一つです。

浜田市では昭和57年に最初の集落営農組織が設立されて以来、各地域で組織が設立され続け、現在では30近い組織が活動を行っており、集落の農地維持や生活向上に貢献しています。

今後も当支援センターでは、地域に貢献する集落営農の組織化・ステップアップの支援を行っていききたいと思います。



## 2. ミクニマルシェフェア



2月2日～3日、ミクニマルシェ認定商品の都心部での販路拡大を図るため、東京都にある「にほんばし島根館」において「ミクニマルシェフェア」が開催されました。

2日には「はまだ食の大使」三國清三シェフ自身が来場され、認定商品のPRなどに積極的にご協力いただきました。また3日には浜田水産高等学校の生徒による「どんちっち三魚」を含めた水産物のPR販売が実施されました。

フェア開催中は近年にない多くの来場者数を記録し、浜田市の農・水産物が都心部で広く認知される良い機会になりました。ミクニマルシェの取組みについて、今後も有意義な情報を発信していきたいと思っております。

## 3. 春の農作業安全運動

これから春の農繁期を迎え、農業者の皆様にとって、大変お忙しい日々が始まることと思っております。島根県では農作業事故が多く発生する春作業に備え、3月～5月の間、「春の農作業安全運動」を実施しており、特に事故件数の多い乗用型トラクターの安全対策ポイントを以下のように示しています。

再度確認し、安全な農作業にお役立てください。

### ①安全キャブ・フレームのあるトラクターを使用しましょう

転落・転倒時の事故を抑える高い効果があります。

### ②シートベルト着用を徹底しましょう

着用することで、安全キャブ・フレームの効果が適切に発揮されます。

### ③作業場所を確認し、危険な箇所には心配りしましょう

傾斜地や法面での転倒が多く発生します。傾斜に対して直角の向きで圃場に入退出しましょう。

### ④正しい機械操作を行いましょう

道路走行時には必ず左右のブレーキペダルの連結を確認しましょう。



## 4. 「持続可能な水・土・里」シンポジウム



2月12日、浜田市総合福祉センターにおいて、「持続可能な水・土・里」シンポジウムが開催されました。

本シンポジウムは里地・里山を水の循環を支える重要な資源と位置づけて後世に継承する気運を高めるために開催され、地域の代表者・集落営農組合の他、関係機関から多数が参加しました。

研究報告・話題提供では、旭町の農地保全と担い手育成策の研究報告、浜田版林業ビジネスモデルの情報提供、日本の棚田百選に選ばれた三隅町室谷の紹介などが行われ、閉会時間まで熱心な質疑応答が繰り返され、有意義なシンポジウムとなりました。

## 5. 島根大学生物資源科学部による研究報告会

3月5日、浜田合同庁舎において、島根大学生物資源科学部による研究報告会が行われました。浜田市と島根大学生物資源科学部は包括的連携協定を締結しており、人材育成や農林水産業の振興、地域資源の活用等の分野で連携を進めています。

当日は、先月本紙でも紹介しました松本敏一准教授による「ピオーネと西条柿の長期保存実験」などが報告され、最新の研究の一端に触れることができました。

今後も、皆様には有用な情報を提供していきたいと思っております。

- 当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。
- ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

### ■ 発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町 3741 (JA いわみ中央本所分館 2 階)

TEL : 0855-22-3500 FAX : 0855-22-3477 E-mail : n-shien@city.hamada.shimane.jp